

九州ITS利活用研究会 QPITS / Practice group of ITS in Kyushu 活動のご紹介

平成24年9月28日

QPITS座長： 浦 正勝（西鉄情報システム株式会社）

研究会発足の背景

- ITS (Intelligent Transport Systems/高度交通システム) は、交通安全、渋滞対策、環境対策などを当初の目的として発展してきた人と車と道路とを情報で結ぶ技術。
- 他分野 (医療・福祉や農業) でも応用する動きあり。
- 東日本大震災の反省から、情報伝達遮断等の課題解決の為、強固で柔軟性の高い社会基盤作りが急務となっている。
- この研究会では、車だけではなくその全ての公共交通機関も含めた、九州内の産学官が一体となり、活気がある住みやすい街づくりを目指した次世代システムのグランドデザインを目指す必要性。

研究会目的

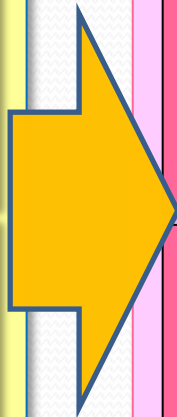
自動車を中心としたITS

ETC

渋滞
情報

カーナビ

位置
情報



人を中心にした新しいITSによる スマート社会づくり

ITS
情報

運行
情報

観光
情報

多国語

災害
情報

商業
情報

プローブ
データ

パーソ
ン
トリップ

地域に密着した情報（コンテンツ）の
相互利活用

具体的な活動方針

- ① ITSを社会基盤とした、九州における
実用展開シナリオの作成
- ② ITSおよび周辺技術・関連機器・アプ
リケーションに関する相互情報発信
- ③ 関連機器を含めた組込みシステム、
アプリケーション、サービスの実用性
を確認する実践プロジェクトの準備

会員数(2012/9/26時点)

個人会員 : 60(名)

企業会員 : 105(社)

オブザーバ : 2(名)

合計 : 167

九州ITS利活用研究会

QUESTが立ち上げ

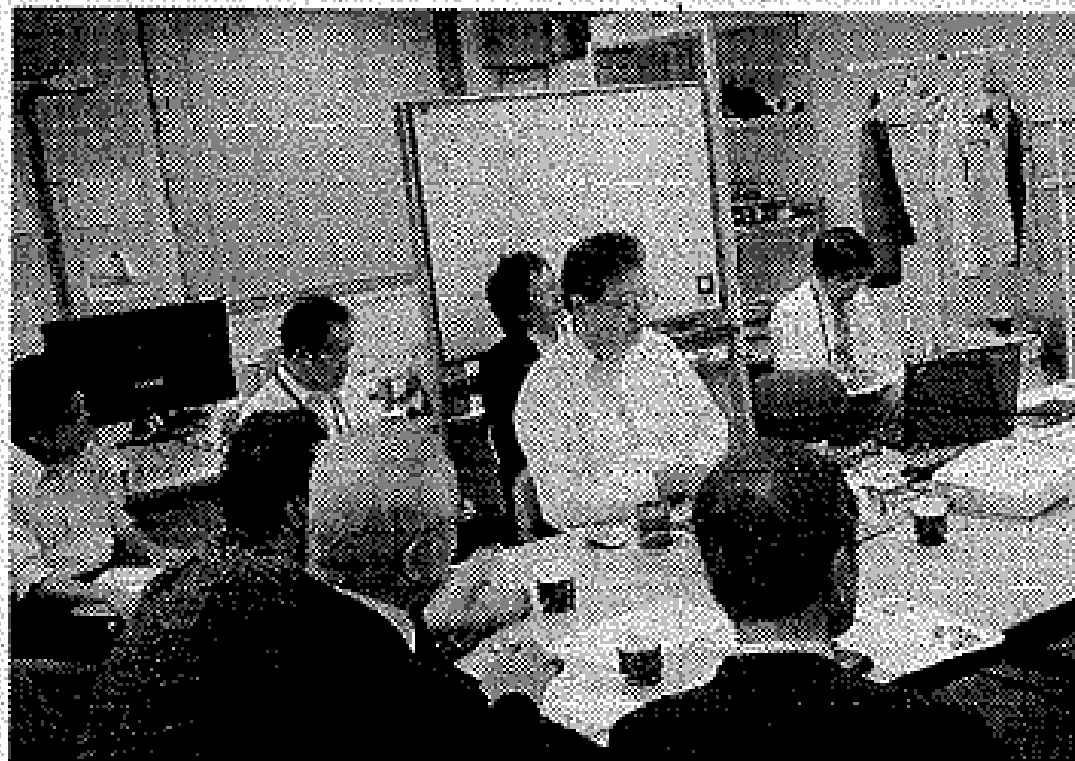
【福岡】NPO法人の九州組込みソフトウェアコンソーシアム(QUEST)、理事長・福田晃・九州大学

大学院教授)は、このほど開催した理事連絡会で「九州ITS(高度道路交通システム)利活用研究会」を

立ち上げた。

同研究会

は、交通・観光・農業・医療・環境など、ITSの利活用が期待されている分野に対し、実用展開シナリオの作成・実証実験を行い、強固で柔



福岡市内の交通系IT企業など
12社で発足した

活動実績 (会合の開催：毎月第二火曜日開催)

● 毎月第2火曜日に開催し、既に9回を数える

- 第1回会合 : 平成23年11月08日 (火)
- 第2回会合 : 平成23年12月13日 (火)
- 第3回会合 : 平成24年01月17日 (火)
- 第4回会合 : 平成24年03月13日 (火)
- 第5回会合 : 平成24年04月10日 (火)
- 第6回会合 : 平成24年05月08日 (火)
- 第7回会合 : 平成24年06月12日 (火)
- 第8回会合 : 平成24年07月10日 (火)
- 第9回会合 : 平成24年08月07日 (火)

地域ITS利活用情報基盤のグランドデザイン

一般利用者及び交通弱者へ情報提供



一般企業及び官公庁自治体へ情報提供



WG 4

デジタルサイネージ
スマートフォン



地域情報提供サービス



パソコン

インターネット／モバイル網とつなぐ「ゲートウェイ」の共通データ仕様

WG 3

九州地域ITS利活用情報基盤

高齢者など交通弱者・外国人観光客も効力した地域の「人の動き」を支援する情報

車両情報

プローブ情報

ヒヤリハット情報

環境情報

パーソナリティ情報

観光関連情報

商業関連情報

災害情報

ビッグデータの検索・分析

情報ソースとつなぐ「ゲートウェイ」の共通インターフェース仕様

会員情報(観光・買い物、グルメなど)、車載情報(位置・乗車・降車・速度など)、公共交通機関情報(ルート、時刻、交通渋滞、緊急案内など)、

地域情報(天気、観光、イベント、防災・警察など)

情報収集

WG 1

活用した情報収集

官公庁
からの情報

商店や観光地
などからの情報

従来の
ITS情報

各事
業さま

各事業
さまさま

各事業者ごとの
さまざまなサービス

WG 2



ワーキンググループとその役割

● グループ 0 ： 企画・調整グループ

QPITS全体の事業化、規約・会則の策定などの企画・立案を推進するとともに、各グループ間の調整、協議会設立や国際会議に向けた準備などを担当する。主管メンバーと、支援メンバーで構成する。

リーダ	:	浦 正勝 (西鉄情報システム)
サブリーダ	:	野原 博 (e-セレス)

ワーキンググループとその役割

- グループ 1 : センサグループ

域内に設置する新規のセンサなどを使った、情報収集の推進を担当する

リーダ : 松尾 真悟 (マイクロコート)

ワーキンググループとその役割

- グループ 2 : コンテンツグループ

域内団体が所有する各種コンテンツの収集の推進・
整理を担当する

リーダ	:	野原 博 (e-セレス)
サブリーダ	:	西岡 誠 (トラストパーク)

ワーキンググループとその役割

●グループ 3 : 利活用基盤整備グループ

本会合のコアとなる、複数の企業・団体やデータセンタにまたがった利活用基盤の整備、技術の確立について担当する

リーダ	:	下津 修 (九電ビジネスソリューションズ)
サブリーダ	:	白石 富久 (アイ・ビジネスセンター)

ワーキンググループとその役割

● グループ 4 : 実践サービス推進グループ

整備される利活用基盤の友好的なサービス事例を
実証として推進する

リーダ	: 波多江 穰治 (システムワークス)
サブリーダ	: 大場 典常 (ライフ・インフォメーション・プロジェクト)

WGの活動の進め方

- グループごとのMLにて情報交換及び、個別の会合を必要に応じて開催（週一～月一くらい）
- リーダを中心として、短期、中長期の目標に向けた様々な検討を実施
- また並行して、平成24年度地域ICT振興型研究開発（人の動きをやさしく支援する地域ITS利活用基盤に関する研究開発：SCOPE）及び、Smart Mobility Asia への実証システム出展に関しても検討中

今後の活動に向けて

1. 目標

スマートフォンサービスと地域密着情報を連携させる「**共通なプラットフォーム**」を整備することにより

- ① 地域生活者及び来訪者が安心して情報「スマホ」の利活用がシームレスにできることを目標とする。
- ② 新たな産業創出の仕組みを構築することを目標とする。
- ③ 多様膨大な移動情報を活用して地域・都市設計に活用できることを目標とする。
- ④ スマートサービスを実現した地域をQPITSモデルとしてエリア単位にグローバル展開することを目標とする。

2. 背景

分野・業種の枠を超えて多種多様な情報(ビッグデータ)を最大限有効に活用するには、安価かつ容易に情報を取得・活用できる環境の整備が求められ、それがひいては「**IT融合新産業の創出**」に繋がると考えられる。

【現状の課題】

- 誰が作ったのか不安
- 安全なのか心配
- 安全かつ保障された情報をユーザに提供
- スマートフォン「アプリ」の流通促進



課題→ブランド化

3. 手段(必要性)

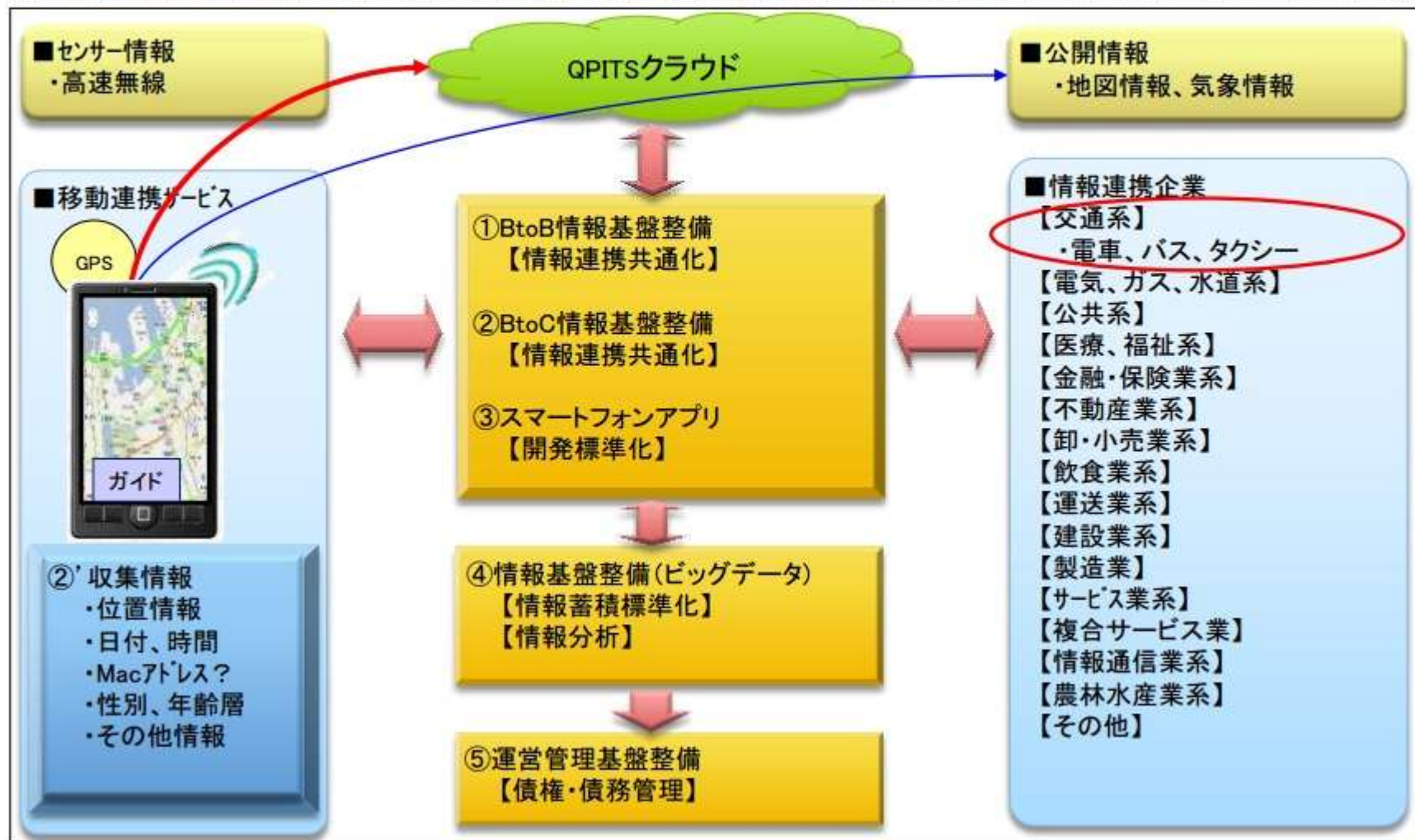
多種多様な移動情報を収集する手段として「**スマホ＝(位置測位)**」情報を活用する。

- ① スマートフォン「アプリ」を常に利活用して頂くために地域に密着した情報をシームレスまたはリアルタイムに提供する。

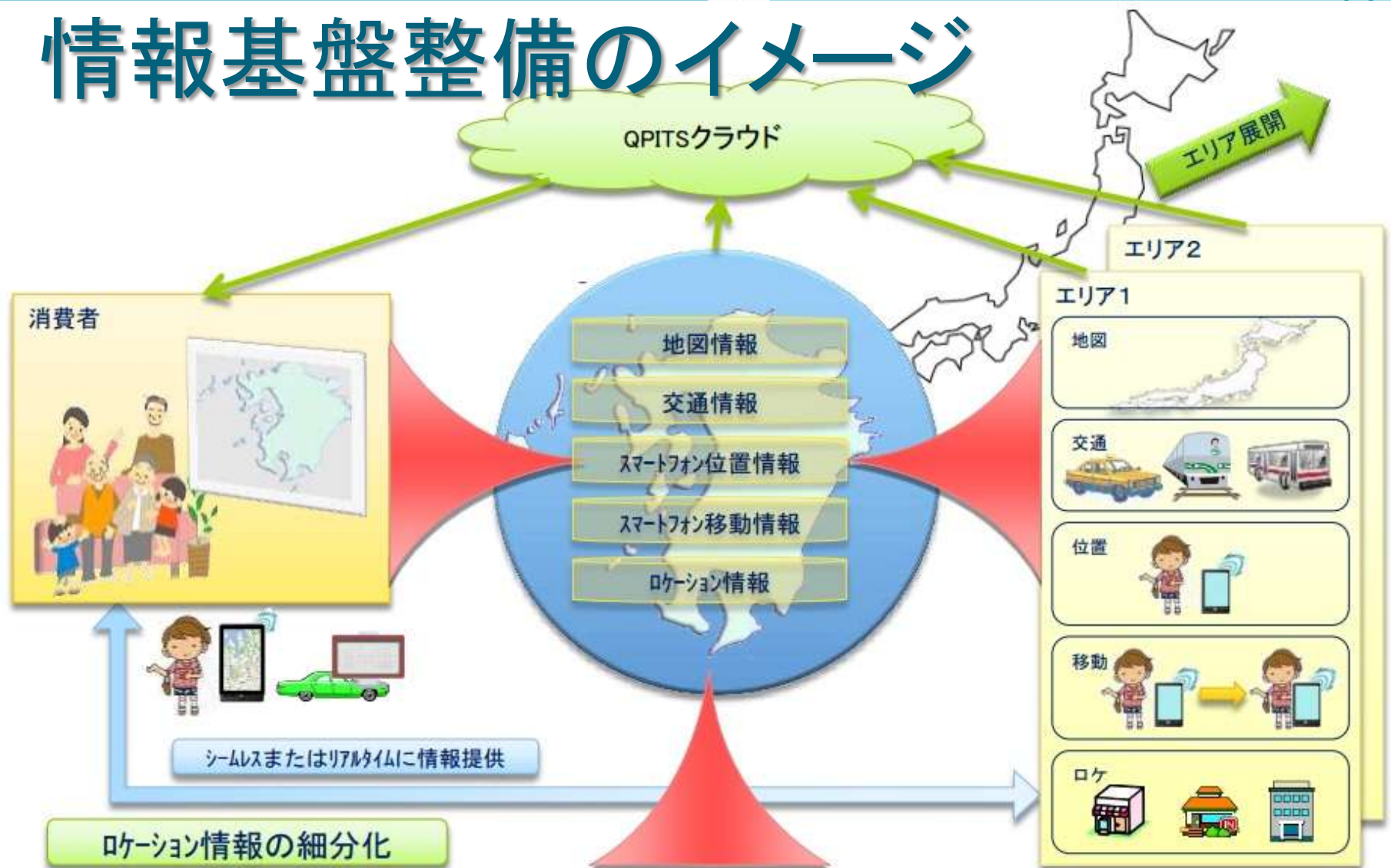
研究開発の具体的内容

【交通分野】

- ① 都市交通インフラの状態をリアルタイムに把握できる仕組みをシステム化に利用しやすいインターフェイス(API)で提供するシステムの開発(最適移動サービスをユーザに提供する。)

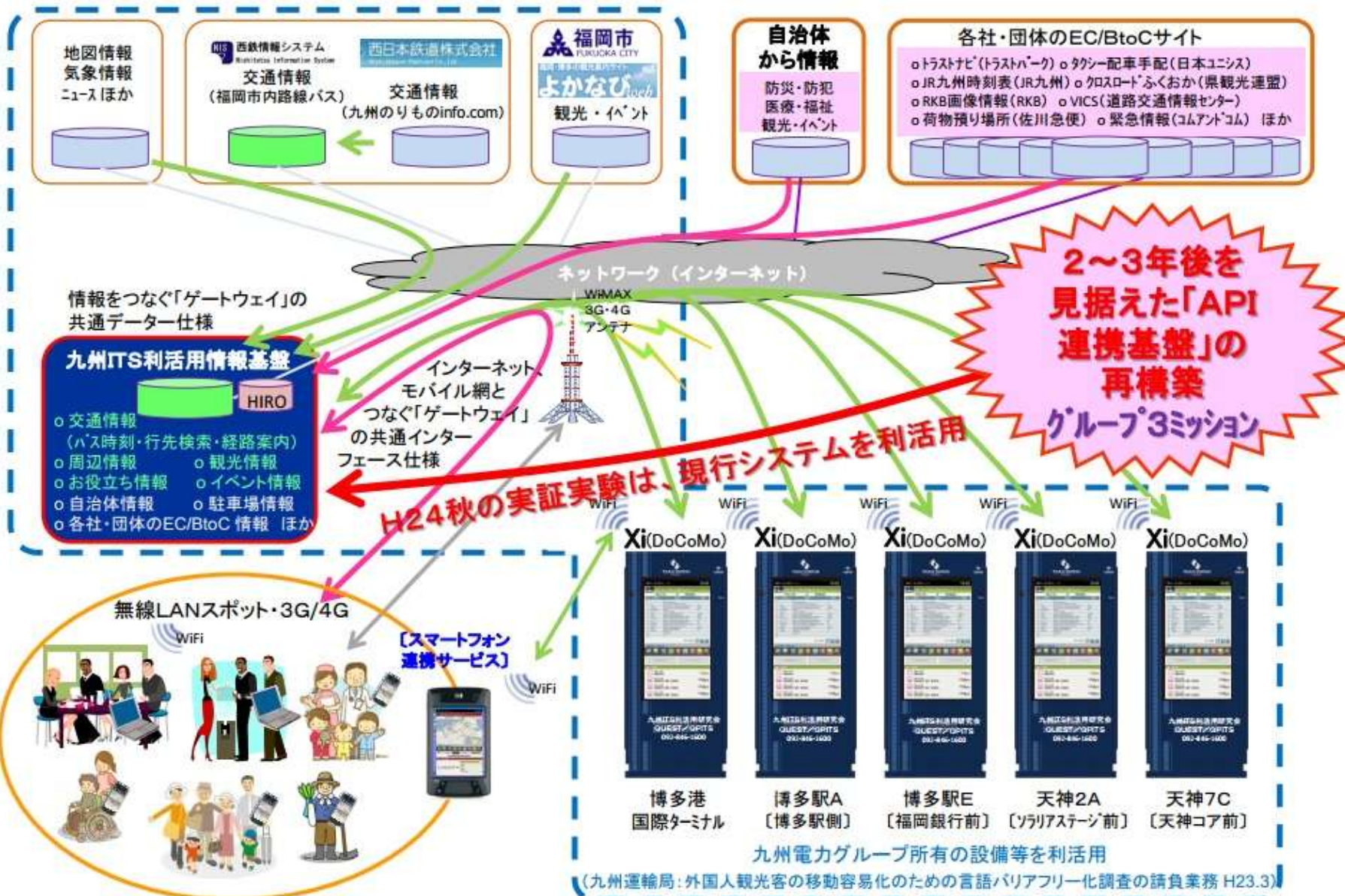


情報基盤整備のイメージ



ロケーション								交通系					商業系							外食系				観光系				行政																				
国	都道府県	住所CD	住所	施設名称	エリア	GLN	位置	その他	バス停	バスターミナル	駅	タクシー乗場	駐車場	駐輪所	空港	港	IC	SA	PA	物販(婦人服)	物販(紳士服)	物販(子供服)	物販(貴金属)	物販(玩具)	物販(化粧品)	物販(書籍)	美容・理容	クリーニング	生花・園芸	その他	ファミレス	洋食	和食	カレー	ラーメン	うどん	そば	居酒屋	リゾート地	温泉地	海水浴場	遊園地	名所・旧跡	役所	公民館	避難所	交番	公園

H24秋～福岡市内『実証実験』構築



実証実験イメージ：デジタルサイネージ

先進的な取り組み(バージョン1:デジタルサイネージ版)

★情報(各アプリ:コンテンツ)をAPI連携し横串からの利活用

★人の移動・利用情報 及び 各センサー情報の利活用

デジタルサイネージ
で実施する内容

市内5ヶ所に設置している「タッチ機能付きデジタルサイネージ」の画面や機能について
利用者の使用状況を集計する。(日時・画面・機能ほか・外国人含めた利用状況を集計)

西鉄(九州のりものinfo.com連携)
交通情報(時刻・接近情報ほか)

福岡市(“よかなび”連携)
観光・遊ぶ・飲食・買う・泊まる

広告ビジネス
スポンサー(当面は実証実験の目的など)

QPITSアプリの案内
新規アプリ(コンテンツ)の案内など

Wi-Fiスポット
無線LAN環境の利用

福岡市内(イベント情報)
福岡市からの情報ほか

周辺情報・天気・ニュースほか
日々の生活情報

各社・団体のEC/BtoCサイト
利用者目線のサービス(コンテンツ)提供



〔凡例〕

現サービス:  計画中のサービス: 

※デジタルサイネージの利用促進に向けた新たなサービス(コンテンツ)の提供

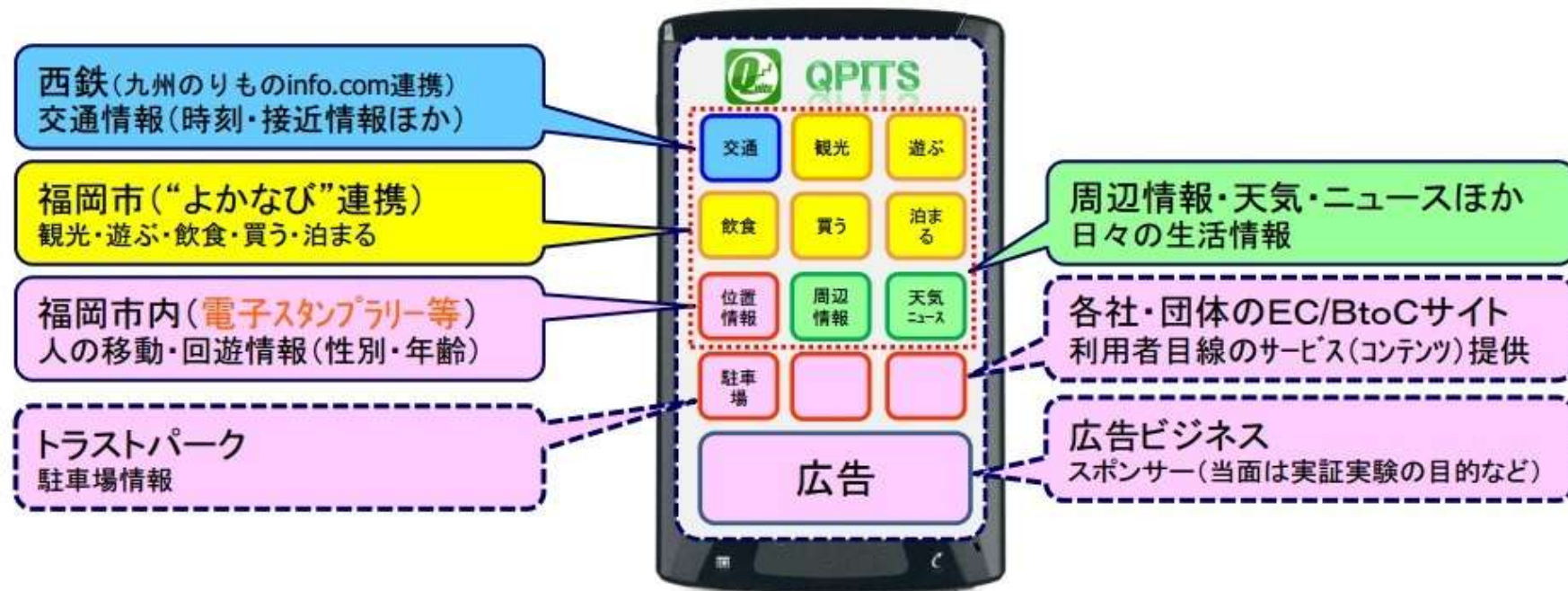
実証実験イメージ：スマートフォン版アプリ

先進的な取組み(バージョン1:スマートフォン版)

- ★情報(各アプリ:コンテンツ)をAPI連携し横串からの利活用
- ★人の移動・利用情報 及び 各センサー情報の利活用

スマートフォン
で実施する内容

『QPITSアプリ』を新規に開設(iOS/Android)し、各種サービスの利用状況について集約する。また、GPS機能付き「電子スタンプラリー等」により、人の移動・回遊情報を集約する。さらに、音声等による検索機能(HIRO)を付加し、利便性の向上を検証する。



※『QPITSアプリ』の利用者(会員)に対し、電子スタンプラリーを利用する事による特典(販促品やクーポン等)を設け増員を図る。

今後のテーマに関して

- ビジネスモデルの収集と整備
- サービスモデルの収集と整備
- 交通系実証実験モデルの整備
 - BtoB情報基盤(公開)
 - BtoC情報基盤(公開)
 - スマートフォンアプリ(公開)
- 2013年度ITS世界会議に向けた基本方針決定
- IT融合による新社会システムの調査・研究
- QPITS標準化に基づく設計・開発・実験・評価





ご清聴誠に有難うございました